

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年2月3日(2011.2.3)

【公開番号】特開2008-152781(P2008-152781A)

【公開日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-026

【出願番号】特願2007-322536(P2007-322536)

【国際特許分類】

G 06 K 7/10 (2006.01)

G 06 K 7/015 (2006.01)

【F I】

G 06 K 7/10 C

G 06 K 7/015 C

G 06 K 7/10 G

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月10日(2010.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光学コードの画像を収集する画像収集装置であって、

前記光学コードの前記画像を収集する前に前記光学コードの動きを静止させるために、すべての画素の露光を同時に開始し同時に停止する静止画電子シャッタを有する画像収集装置を備えたことを特徴とする画像スキャニング装置。

【請求項2】

前記画像収集装置が、相補型金属酸化膜半導体又は電荷結合素子を有する請求項1に記載の画像スキャニング装置。

【請求項3】

前記光学コードが、バーコード、人間が読み取れるコード又は画像である、請求項1に記載の画像スキャニング装置。

【請求項4】

前記光学コードの画像を前記画像収集装置に方向付け、焦点を合わせるように構成した光学装置をさらに備える、請求項1に記載の画像スキャニング装置。

【請求項5】

様々な方向からの複数の画像を前記画像収集装置に順次に方向付けるようにさらに構成される、請求項4に記載の画像スキャニング装置。

【請求項6】

光学コードの画像を画像収集装置に方向付ける工程と、

前記画像収集装置で実施される、静止画電子シャッタを用いて前記方向付けられた画像全体の動きを静止させる工程と、

前記シャッタをすべての画素の露光を同時に開始し同時に停止する工程と、

前記光学コードの前記静止画像を収集する工程と、

の各工程を有する光学コードの画像スキャニング方法。

【請求項7】

前記光学コードの画像スキャニング方法が、相補型金属酸化膜半導体又は電荷結合素子

を用いて行われる、請求項 6 に記載の画像スキャニング方法。

【請求項 8】

前記光学コードが、バーコード、人間が読み取れるコード又は画像である、請求項 6 に記載の画像スキャニング方法。

【請求項 9】

画像方向付け装置が、光学コードの画像を前記画像収集装置に方向付けるために使用される、請求項 6 に記載の画像スキャニング方法。

【請求項 10】

光学コードと関連付けた情報を格納するように構成したサーバコンピュータと、

前記サーバコンピュータと通信するローカルコンピュータと、

前記ローカルコンピュータと通信する画像スキャニング装置と、

を備え、

前記画像スキャニング装置は、前記光学コードの画像を収集する画像収集装置を備え、

前記画像収集装置は、前記光学コードの前記画像を収集する前に前記光学コードの動きを静止させるために、すべての画素の露光を同時に開始し同時に停止する静止画電子シャッタと、を備える画像スキャニングシステム。